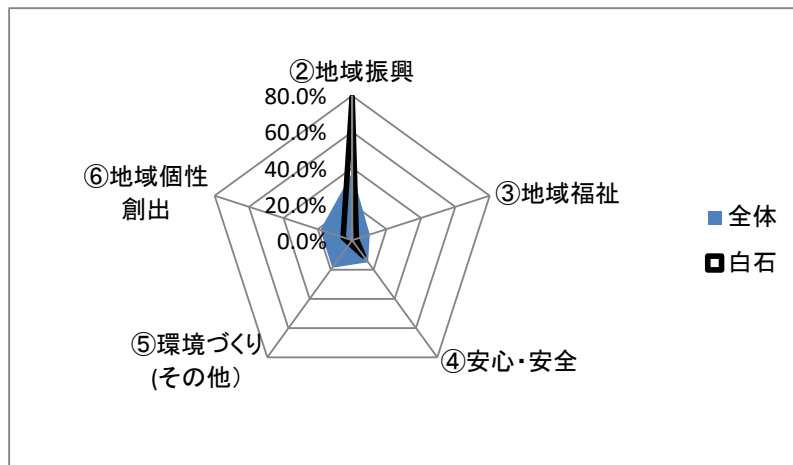


## 白石地区地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(令和2年度)

### ■地域の情報

地域人口	10,477人	自治会数	40
世帯数	4,668世帯	自治会加入率	85.7%

※数値は、令和3年4月1日のもの



### ■決算状況

交付金配分枠	9,013,000 円
交付金決算額	8,986,584 円
その他収入	386,039 円
交付金決算額／配分額	99.7%

### 各分野の決算

①協議会運営	5,167,194 円
②地域振興	3,337,657 円
③地域福祉	105,943 円
④安心・安全	445,218 円
⑤環境づくり(土木工事)	0 円
⑤環境づくり(その他)	95,024 円
⑥地域個性創出	221,587 円
決算総額	9,372,623 円

### ■地域づくりの活動方針(テーマ)

みんなで作る住みよいまち・白石

### ■総括

交付金の活用によって、専門部会、実行委員会等を中心とした地域課題の解決に向けた取り組みが進んだ。特に令和2年度においては、元年度に実施した住民アンケートの集計、分析、自由意見等の精査を行い、今後の5か年に向けた「第3次白石地区地域づくり計画」を策定した。

今後については、第3次地域づくり計画に基づいて、地域課題を解決するための手段としての事業を企画し(P)、地域住民が主体となって遂行し(D)、事業結果(効果)を検証し(C)、改善する仕組みを構築する(A)ために、地区住民同士が自由に話し合える場づくりに重点的に取り組む。

### ■分野別事業名

① 協議会運営	事務員、事務局長人件費、事務費
② 地域振興	地域づくり活動参加促進、広報活動、「やまぐちえき」応援イベント、白石フェスティバル開催支援事業、町内親睦大運動会開催支援事業、町内会親睦活動支援事業、ふるさとまつり参加促進事業
③ 地域福祉	人権啓発活動推進、チャレンジ健康づくりノルディックウォーキング講習会、健康食のおススメ、グラウンドゴルフ大会開催、むかし遊び
④ 安心・安全	危険防止看板設置、反射鏡設置、自主防災組織モデル事業、夏休み防災訓練キャンプ、安全パトロール事業
⑤ 環境づくり	五十鈴川を守る会(河川清掃)
⑥ 地域個性創出	お宝写真展開催事業、白石歴史探訪の会

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	第3次地域づくり計画策定	決算額	1,148,282円
	目的	第3次地域づくり計画書(令和3年度～令和7年度)を策定する。		
	実施内容	地域が抱える課題、問題等を的確に把握するため令和2年3月に白石地区在住の2,000人(18歳以上無作為抽出)を対象に住民アンケート調査を実施したところ、764件の回答があり、その集計結果・内容のクロス集計や自由意見等を精査し、第3次地域づくり計画書を策定した。		
	実施時期	令和2年4月～令和3年3月		
	参加人数	20人(策定委員10人、学識経験者等10人)		
	成果	優先的に解決すべき地域課題を7項目選定し、それらを解決する手段として15の具体的な個別事業の取り組み方針等について実施団体等と協議を行い、第3次地域づくり5カ年計画を策定した。A4冊子16ページ。		
	評価	第3次地域づくり計画書の作成により、地域課題の解決に向けた地域づくり活動計画の概要が周知できた。		
	今後に向けて	適宜、本計画におけるPDCAを行い、基本理念である「みんなで作るすみよいまち・白石」の実現を図る。		
②	事業名	「やまぐちえき」応援イベント	決算額	425,087円
	目的	地域住民同士の連帯感や絆を深め、地域活動における協働態勢を整える。 地域住民、観光客のコミュニティの場として山口駅を活性化する。		
	実施内容	JR山口駅の環境美化活動、市内観光ウォーキング活動を開催した。 今年度は新たにJR山口駅構内待合室で3週間写真展を開催した。		
	実施時期	令和2年9月、10月		
	参加人数	14人(実行員会メンバー)		
	成果	JR山口駅構内待合室で「白石ご当地自慢写真展」を開催し、駅利用者や近隣住民の皆さんへ白石地域の魅力を発信した。		
	評価	山口駅構内待合室における「白石ご当地自慢写真展」では主に山口駅利用客等他地区住民の皆さんへ「ちょうちん祭り」、「山口祇園祭」等伝統文化や明治維新に関わる名所旧所など白石地区および近隣地域の魅力を発信することができた。 観光ボランティア「てくてくウォーキング」では白石歴史探訪の会とコラボ開催し、参加者と交流を深めることができた。		
	今後に向けて	今後も継続して、おもてなしイベントの実施や「白石ご当地自慢写真展」の開催、駅カフェの開設に加え、新たに「クリスマスは山口から」をテーマに駅通り商店街と連携したイベントを開催するなど、白石地区および近隣地域の魅力を発信する本事業を深化させ、地域内はもとより他地域交流の礎としたい。 6・10月の観光ボランティアについては、来年度も白石歴史探訪の会とコラボして実施する。		
③	事業名	ふるさとまつり参加促進事業	決算額	373,638円
	目的	白石地区の町内会連合、各町内会と地域づくりの各団体の積極的な参加で山口市の三大イベントを盛り上げる。白石地区の住民への集客アップ。		
	実施内容	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から、【ほたるまつり】、【祇園祭】、【ちょうちんまつり】が中止となった。8月7日に子ども育成会を中心に、親子ミニちょうちん祭りを白石地域交流センターで実施した。		
	実施時期	令和2年8月7日		
	参加人数	124人(スタッフ延人数)		
	成果	参加者、スタッフ全員が検温・消毒をするなど、感染防止を徹底したことから、新規感染者の発生もなく、無事に終了した。		
	評価	前日にリーダー会議を行い、最終確認をし、準備、お祭り、片付けまで円滑に実施できた。		
	今後に向けて	伝統文化活動を通じて、子どもからお年寄りまでの三世代間の交流を促進する。とりわけ、子育て世代を対象とした、親子で参加できる楽しい事業を企画する。		